

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

剰余金配当基準日 3月31日(期末配当)
9月30日(中間配当)

定時株主総会 毎年6月(基準日:3月31日)

公告の方法 電子公告の方法により行います。
公告掲載URL
<http://www.nisshinbo.co.jp/>
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告に
よることができない場合は、日本経済新聞に掲載
して行います。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

株式に関するお手続き

[証券会社で口座を開設されている株主様]
当該証券会社にご連絡ください。

[証券会社で口座を開設されていない株主様]
三菱UFJ信託銀行(特別口座管理機関)に
ご連絡ください。
TEL 0120-244-479(通話料無料:24時間受付)
インターネット <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

株主優待のご案内

当社の株主優待制度は、日清紡グループの紙製品
ギフトセットまたは社会貢献活動への寄付のどちら
かをお選びいただける内容となっております。

詳細は、ご優待対象の株主様へ同封いたしました
株主優待申込みはがきをご覧ください。

株主優待の内容

次のいずれか1つを選択いただけます。

- 1 家庭紙製品ギフトセット
(3,000円相当)
※日清紡グループの日清紡ペーパー
プロダクツ(糊製品です。
- 2 環境保全や人道支援を目的とする募金への寄付
(金額は3,000円/人)
※今回は日本赤十字社の震災義援金へ寄付を行う予定です。

ご優待対象の株主様

2016年3月31日現在で、1,000株以上保有する国内在住の
個人株主の方。
※当社株式の売買単位は100株ですが、株主優待の対象となるに
は1,000株以上の保有が必要となります。

ご優待のお申込み方法

ご優待対象の株主様には、株主優待申込みはがきを同封して
おりますので、必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。
なお、お申込みの締切りは2016年8月1日となっております
ので、ご注意ください。

NISSHINBO

第173期

株主通信

2015年4月1日～2016年3月31日

日清紡ホールディングス株式会社
〒103-8650 東京都中央区日本橋人形町2-31-11

UD
FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



日清紡ホールディングス株式会社
証券コード 3105



「環境・エネルギーカンパニー」グループとして企業価値の向上に邁進します。

代表取締役社長
かわた まさや
河田 正也

株主の皆様には、日頃より日清紡グループへの格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日清紡グループは、「企業公器」「至誠一貫」「未来共創」の企業理念に立脚し、ステークホルダーに対して公正・誠実であることを基本姿勢としています。そして、環境・エネルギー問題を人類の共通の課題ととらえ、すべての事業セグメントにおいて持続可能なグローバル社会の実現に貢献し、ステークホルダーとともに持続的な成長を遂げたいと考えています。

また、「環境・エネルギーカンパニー」グループとして、2017年度には売上高6,000億円、ROE9%、10年後の2025年度には売上高1兆円、ROE12%超の達成を経営目標として掲げています。

この目標の達成に向け、「既存事業の強化」「研究開発の成果発揮」「M&Aの積極展開」をグループ一丸となってさらなる成長を目指してまいります。

株主還元については、2015年5月に配当政策を変更し、連結配当性向30%程度を目安として安定的かつ継続的に配当を行うこととしました。この新しい配当政策に基づき、当期末の配当は1株当たり15円（前期より7.5円増配）とし、中間配当を合わせた年間配当額は1株当たり30円（前期より15円増配）となりました。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

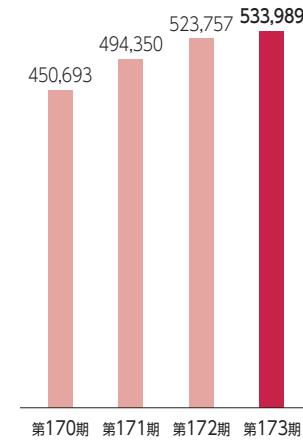
CONTENTS

株主の皆様へ.....	p-1	連結財務諸表の概要.....	p-5	会社・株式概要.....	p-10
当期の連結業績について.....	p-2	ニュース&トピックス.....	p-7	株主メモ・株主優待のご案内.....	巻末
日清紡グループの事業概況.....	p-3	CM&新製品情報.....	p-9		

■ 売上高

5,339億89百万円
(前年比 2.0% 増)

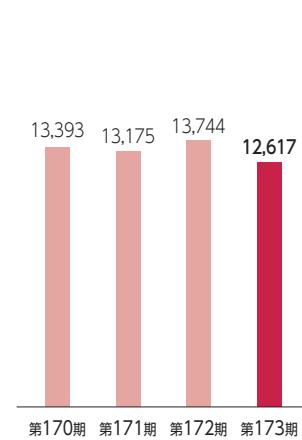
(単位:百万円)



■ 営業利益

126億17百万円
(前年比 8.2% 減)

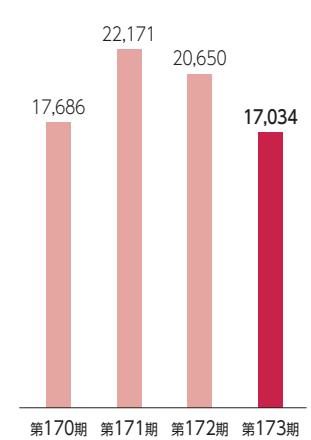
(単位:百万円)



■ 経常利益

170億34百万円
(前年比 17.5% 減)

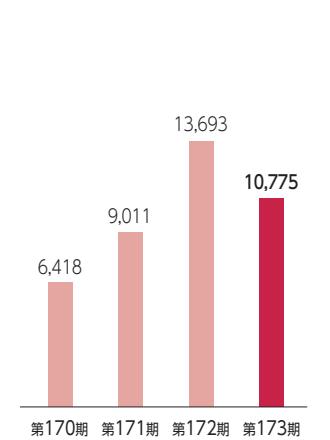
(単位:百万円)



■ 親会社株主に帰属する当期純利益

107億75百万円
(前年比 21.3% 減)

(単位:百万円)



※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当期より、「当期純利益」を「親会社株主に帰属する当期純利益」としており、前連結会計年度までの当期純利益についても科目名を統一しております。

当期における日清紡グループの売上高は、新たに東京シャツ(株)を連結対象子会社として加えた繊維事業が大幅な増収になったことなどにより、増収となりました。

営業利益は、繊維事業が増益となった一方、日本無線(株)のソリューション事業や通信機器事業の低調

によりエレクトロニクス事業で減益になったことなどにより、減益となりました。

経常利益は、営業利益の減少に加え、為替差益や持分法による投資利益が減少したことなどにより減益となり、親会社株主に帰属する当期純利益も、減益となりました。

事業別売上比率



エレクトロニクス事業 情報通信機器、電子部品、半導体製品など



売上高 2,053億67百万円 (前期比1.8%減) ↓

営業利益 83億18百万円 (前期比34.5%減) ↓

海上通信機器、電子部品、半導体製品が堅調でしたが、水河川・道路情報システムの受注減などの影響により、減収・減益となりました。

ブレーキ事業 摩擦材、アッセンブリ製品など



売上高 1,650億37百万円 (前期比1.9%増) ↑

営業利益 △8億86百万円 (前期比11億81百万円の改善) ↑

国内販売は減少しましたが、TMD社など海外子会社の売上増から増収となり、TMD社買収等に伴うのれんの償却費負担により損失を計上したものの、損益は改善しました。

精密機器事業 プラスチック製品、精密部品加工など

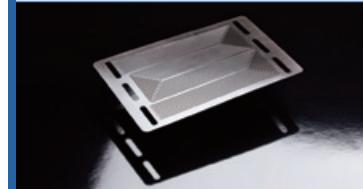


売上高 295億25百万円 (前期比3.2%増) ↑

営業利益 3億18百万円 (前期比20.6%増) ↑

精密部品事業の中国子会社の販売増やプラスチック製品事業のインド子会社の連結化などにより、増収・増益となりました。

化学品事業 断熱製品、機能化学品、燃料電池セパレータなど



売上高 82億85百万円 (前期比1.8%増) ↑

営業利益 7億53百万円 (前期比89.9%増) ↑

断熱製品のLNG(液化天然ガス)輸送関連の受注、機能化学品の水性架橋剤等の売上増、燃料電池セパレータの新規開発製品の受注などにより、増収・増益となりました。

繊維事業 シャツ、テキスタイル、デニム、スパンデックス・エラストマーなど



売上高 575億3百万円 (前期比19.4%増) ↑

営業利益 18億72百万円 (前期比22億30百万円の改善) ↑

スパンデックス系、エラストマー製品、不織布等の販売が堅調だったことに加え、東京シャツ(株)の連結子会社化の効果もあり、増収となり黒字化しました。

紙製品事業 家庭紙、洋紙、紙加工品など



売上高 325億84百万円 (前期比4.2%増) ↑

営業利益 7億42百万円 (前期比74.6%増) ↑

家庭紙・洋紙ともに市場での需要回復や販売価格が堅調に推移したことにより、増収・増益となりました。

不動産事業 宅地分譲、土地、建物賃貸など



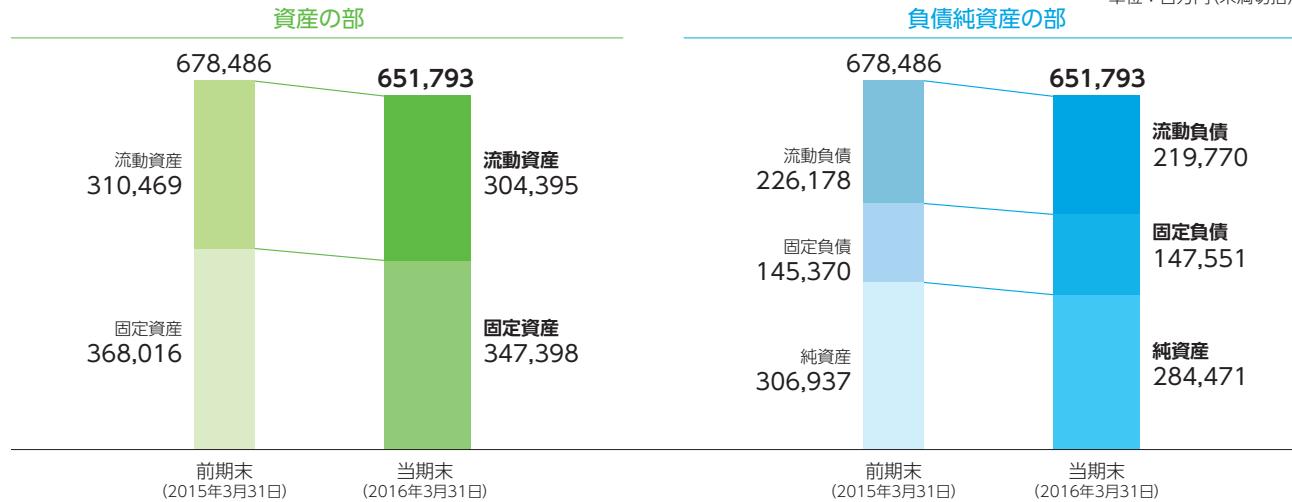
売上高 83億57百万円 (前期比9.6%減) ↓

営業利益 57億95百万円 (前期比13.1%減) ↓

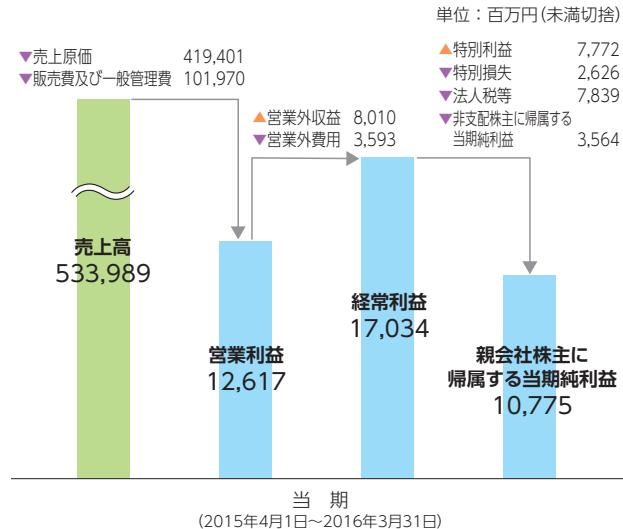
事業所跡地を活用した宅地分譲事業は順調に進みましたが、前期末で能登川事業所跡地(滋賀県)の分譲が終了したため、減収・減益となりました。

連結財務諸表の概要

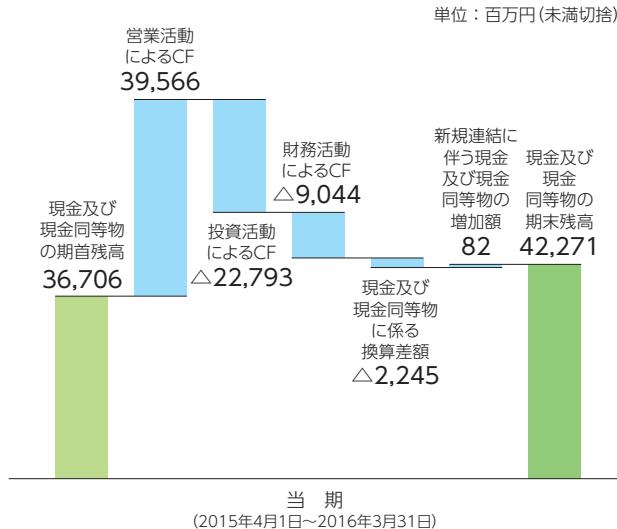
■ 連結貸借対照表の概要



■ 連結損益計算書の概要



■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要



※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当期より、「少数株主持分」を「非支配株主持分」としております。

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当期より、「少数株主損益調整前当期純利益」は「当期純利益」に、「少数株主損益」は「非支配株主に帰属する当期純利益」に、「当期純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」としてしております。

■ 連結貸借対照表の要旨

単位：百万円(未満切捨)

科 目	前期末 (2015年3月31日)	当期末 (2016年3月31日)	科 目	前期末 (2015年3月31日)	当期末 (2016年3月31日)
資産の部			負債の部		
流動資産	310,469	304,395	流動負債	226,178	219,770
固定資産	368,016	347,398	固定負債	145,370	147,551
有形固定資産	184,885	191,768	負債合計	371,548	367,321
無形固定資産	35,914	30,636	純資産の部		
投資その他の資産	147,216	124,993	株主資本	186,301	190,855
資産合計	678,486	651,793	その他の包括利益累計額	72,608	42,833
			新株予約権	221	168
			非支配株主持分	47,805	50,613
			純資産合計	306,937	284,471
			負債純資産合計	678,486	651,793

■ 連結損益計算書の要旨

単位：百万円(未満切捨)

科 目	前 期 (2014年4月1日から 2015年3月31日まで)	当 期 (2015年4月1日から 2016年3月31日まで)
売上高	523,757	533,989
売上原価	415,608	419,401
売上総利益	108,149	114,587
販売費及び一般管理費	94,405	101,970
営業利益	13,744	12,617
営業外収益	9,315	8,010
営業外費用	2,409	3,593
経常利益	20,650	17,034
特別利益	7,186	7,772
特別損失	9,877	2,626
税金等調整前当期純利益	17,958	22,179
法人税等	△2,846	7,839
当期純利益	20,805	14,340
非支配株主に帰属する当期純利益	7,111	3,564
親会社株主に帰属する当期純利益	13,693	10,775

■ 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

単位：百万円(未満切捨)

科 目	前 期 (2014年4月1日から 2015年3月31日まで)	当 期 (2015年4月1日から 2016年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,120	39,566
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,271	△22,793
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,238	△9,044
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,605	△2,245
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	11,216	5,483
現金及び現金同等物の期首残高	24,824	36,706
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	664	82
現金及び現金同等物の期末残高	36,706	42,271

期末配当について

当期の期末配当金については下記のとおり決定いたしました。

1. 期末配当金 1株につき金15円
2. 期末配当の効力発生日
ならびに支払開始日 2016年6月8日(水)



日本無線、長野日本無線、上田日本無線の資本関係再編で一体運営

エレクトロニクス事業では、2012年9月より、無線通信技術に強みを持つ日本無線(株)を中心として、長野日本無線(株)、上田日本無線(株)が協調して「成長戦略の遂行」と「グローバルレベルでのコスト構造改革」を基本方針とした「新たな成長に向けた事業構造改革」に取り組んできました。

この事業構造改革を完遂してより競争力のある事業基盤を創出するため、また3社で成長戦略を共有してスピードを上げて戦略遂行できる体制を構築するため、日本無線(株)は、2016年3月23日付で長野日本無線(株)と上田日本無線(株)を株式交換により完全子会社化しました。

この資本関係の再編により、事業の一体運営とガバナンス体制の強化を図り、エレクトロニクス事業のさらなる成長を目指します。



バラード社との提携関係を強化

当社は、かねてより技術交流があるカナダの燃料電池メーカーであるバラード社との提携関係の強化を図るため、2015年11月に同社の発行済み株式の2%超を取得しました。

バラード社は、世界で初めて燃料電池を発売した会社であり、燃料電池に関して世界をリードする技術と知見を有しています。

今回の株式取得を契機として、当社とバラード社は、水素社会の実現を目指す重要なパートナーとしてともに成長するため、両社で非白金触媒、セパレータの研究開発を推進し、パートナーシップの深化を目指します。



調印式(2015年10月)



「ニッシン・トーア・岩尾株式会社」が誕生します

2016年10月1日に日清紡グループの商社であるニッシン・トーア(株)と岩尾(株)は、合併することになりました。新社名は「ニッシン・トーア・岩尾株式会社」となる予定です。

ニッシン・トーア(株)は、繊維製品、食品全般、LED製品やロングファンなどの環境関連商材、各種機械設備、紙製品、燃料などの商品を、一方の岩尾(株)は、産業資材事業、衣料繊維事業を柱に、各種繊維製品からフィルム加工品、電子材料、スポーツ衣料などの商品を取り扱っています。

今回このふたつの商社がひとつになり、それぞれが持つビジネスの特長や情報などのリソースを相互に活用することによって、シナジーを発揮し、グローバルにビジネスを拡大していきます。

ニッシン・トーア



繊維製品



ロングファン

岩尾



スポーツ衣料



電子材料



3R活動優良企業で環境大臣賞を受賞

当社の徳島事業所は、廃棄物のリサイクル率が3年連続で99.8%以上を達成していることなどから、3R活動優良企業として「平成27年度循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰」を受賞しました。日清紡グループとして初の受賞となります。

同表彰制度は、3R(廃棄物の発生量の抑制(Reduce)、再使用(Reuse)、再生利用(Recycle))活動の適切な推進に顕著な功績があった個人、企業、団体を表彰するもので、2006年度に環境省によって設けられました。

日清紡グループは、事業を通じてグローバル社会にソリューションを提供する「環境・エネルギーカンパニー」グループとして、これからも循環型社会の実現を目指していきます。



平成28年熊本地震による被害への支援について

日清紡グループでは、2016年4月に発生した平成28年熊本地震による被災地への支援として、日本赤十字社を通じて合計1,400万円を義援金として寄付いたしました。

被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

きゃりーぱみゅぱみゅが「♪ニッシンボー」の歌とダンスで登場！

開始から5年目を迎えた日清紡グループの企業CM「ドッグシアター」シリーズに、本年4月から人気アーティストのきゃりーぱみゅぱみゅさんが出演しています。

POPな曲にアレンジされたCMソング「NISSHINBOの歌」を、同じくデビュー5周年を迎えるきゃりーぱみゅぱみゅさんがカラフルな衣装を着て歌って踊っています。イントロの華やかなリズムや楽しいダンスなど、“きゃりーワールド”全開のかわいくてインパクトのあるCMとなっています。

このCMを通じて、日清紡グループの認知度を高め、「いま、必要な会社。」であることをアピールしていきます。



※CMは当社ホームページでもご覧いただけます。

「シャワートイレのためにつくったトイレトーパー 吸水力5倍」新発売

日清紡ペーパー プロダクツ(株)は、本年5月より新商品『シャワートイレのためにつくったトイレトーパー 吸水力5倍』の全国販売を開始しました。

シャワートイレ用トイレトーパーのパイオニアである同社が開発した本商品は、同社通常品と比べて吸水力は5倍以上、紙の厚みは約2倍と、吸水性能だけでなく、使い心地もグレードアップしています。

厚手でまるでやわらかいタオルのような、これまでにない「吸水力5倍」のトイレトーパーをぜひお試しください。



■会社概要 (2016年3月31日現在)

商号	日清紡ホールディングス株式会社 Nisshinbo Holdings Inc.
設立	1907(明治40)年2月5日
資本金	27,587,976,204円
従業員	197名(単体) 23,055名(連結)
本社	東京都中央区日本橋人形町2-31-11

■主なグループ会社 (2016年3月31日現在)

グループ会社	148社(国内51社、海外97社)
・連結子会社	117社
・非連結子会社	12社(うち持分法適用会社1社)
・関連会社	19社(うち持分法適用会社7社)

■エレクトロニクス事業

日本無線(株)、新日本無線(株)、長野日本無線(株)、上田日本無線(株)

■ブレーキ事業

日清紡ブレーキ(株)、TMD FRICTION GROUP S.A.、日清紡オートモーティブマニュファクチャリング[アメリカ]、日清紡ソンプーンオートモーティブ[タイ]、セロン・オートモーティブコーポレーション[韓国]

■精密機器事業

日清紡メカトロニクス(株)、南部化成(株)、日清紡精機広島(株)、日清紡メカトロニクス(上海)、日清紡メカトロニクス(タイランド)

■化学品事業

日清紡ケミカル(株)、(株)日新環境調査センター

■繊維事業

日清紡テキスタイル(株)、東京シャツ(株)、ブラジル日清紡、ニカワテキスタイルインダストリー、日清紡インドネシア

■紙製品事業

日清紡ペーパー プロダクツ(株)、日清紡ポスタルケミカル(株)、東海製紙工業(株)、大和紙工(株)

■役員 (2016年6月29日現在)

取締役	取締役社長*	河田正也
	取締役専務執行役員*	村上雅洋
	取締役専務執行役員	土田隆平
	取締役常務執行役員	西原孝治
	取締役常務執行役員	小倉良
	取締役常務執行役員	奥川隆祥
	取締役*	秋山智史
	取締役*	松田昇
	取締役*	清水啓典
	取締役*	藤野しのぶ

*1は代表取締役 *2は社外取締役

監査役	常勤監査役	藤原洋一
	常勤監査役	大本巧
	監査役*	川上洋彦
	監査役*	富田俊彦

*は社外監査役

■株式状況 (2016年3月31日現在)

発行可能株式総数	371,755,000株
発行済株式総数	178,798,939株
株主数	13,335名

■所有者別株式分布状況 (2016年3月31日現在)

